

施工管理記録様式及び記載例

様式	(2)-1	出来形管理図表
"	(2)-2	度数表
"	(3)-1	測定結果一覧表
"	(3)-2	"
"	(3)-3	点検表
"	(3)-4	管水路ジョイント間隔測定結果一覧表
"	(3)-5	埋設とう性管たわみ量管理表
"	(3)-6	ゴム輪位置管理表
"	(4)	杭打成績表
"	(5)	コンクリート圧縮強度試験結果一覧表
"	(6)	シュミットハンマーによるコンクリート圧縮強度
"	(7)	コンクリート二次製品現場搬入検査結果一覧表
"	(8)	ほ場整備工事基盤、表土均平管理結果図表
"	(9)	" 道、水路工出来形管理結果一覧表
"	(10)	" 出来形成果表

出来形管理図表

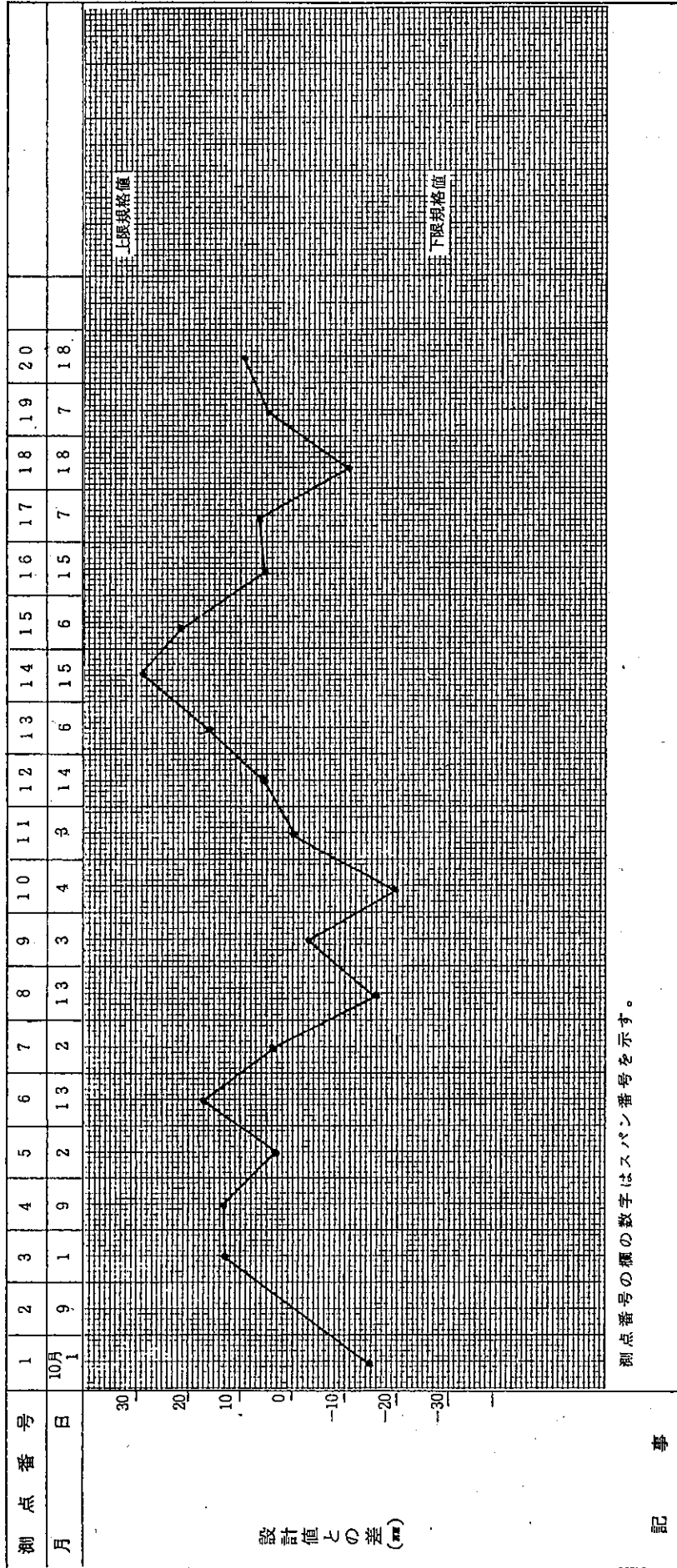
主任監督職員	主任技術者
現場監督職員	

工事名 ○○○○○○○○I事

請負会社名 ○○○○○○○○

工種名

測定者名 ○○○○○ 印



- 注
1. 工種名は、土工（盛土）杭工（コンクリート杭）コンクリート擁壁工等と記入する。
 2. 特性は、基準高出来形管理図表、厚さ出来高管理図表、幅出来形管理図表と記入する。
 3. 番号は、S-T-A又はロット番号をあらかじめ定め、起点から終点に向かって順序に記入しておく。
 4. 月日は当該測点番号の測定月日を記入する。
 5. 設計値との差の単位を定め目盛に数値を記入する。
 6. 図表には許容範囲の線を朱書で記入する。
 7. 記事は手直の処置等を記入する。

基準高度数表

主任監督職員	主任技術者
現場監督職員	

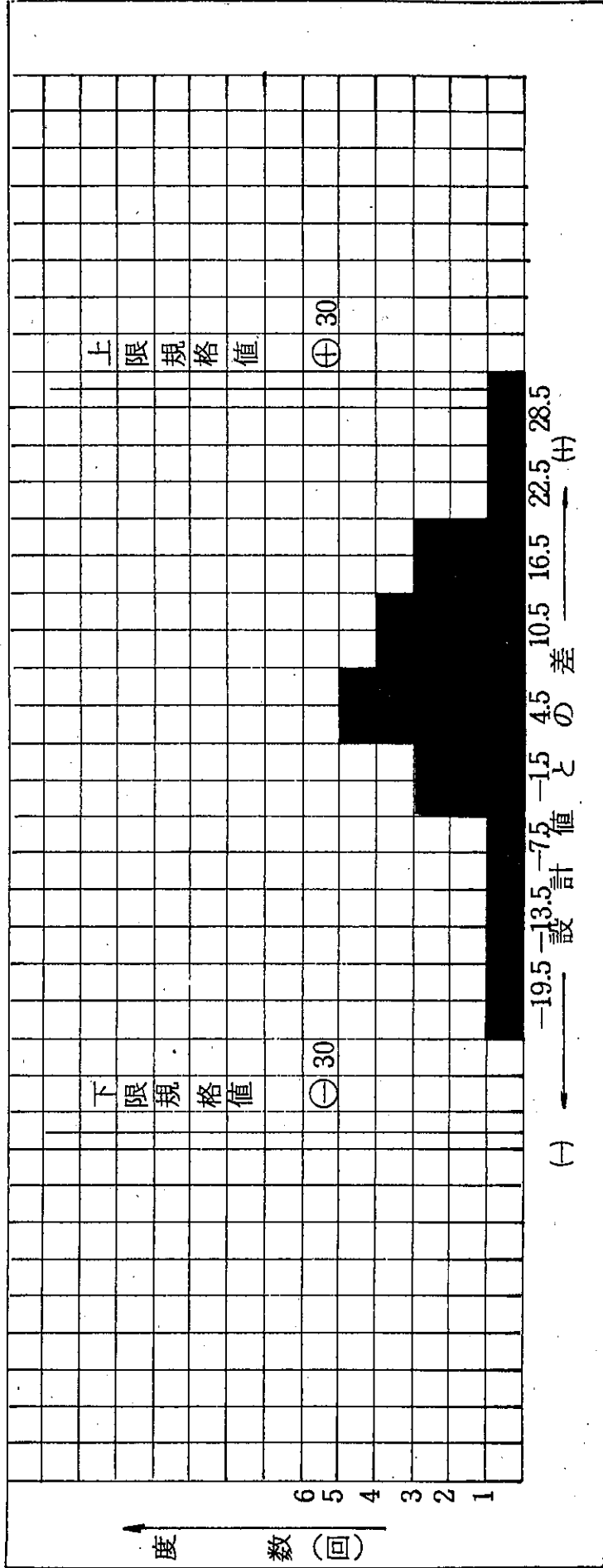
工事名 ○○○○○○○○工事

請負会社名 ○○○○○○○○株式会社

工種名 フルネーム

測定者 ○ ○ ○ ○ 印

平成○○年 ○ 月 ○ 日 現在



注：出来形管理で20点以上の場合使用する。

主任 監督員	主任 技術者
現場 監督員	

度 数 表

工 事 名

請負会社名

工 種 名

測定者

平成 年 月 日 現在

印

度 数 (回)																					← 設計値との差 → (+)

注：出来形管理で20点以上の場合使用する。

基準高測定結果一覧表

主任監督職員	現場監督職員	主任技術者

工事名 ○○○○○○工事

請負会社名 ○○○○

工種名 管水路

測定者 ○○ ○○ ㊟

測点	設計値 A	実測値 B	設計値との差 C=B-A	規格値 D	規格値との差 E=B-D
No. 1	15,173	15,190	+17	15,193	+17
No. 2	15,099	15,106	+7	15,099	+7
No. 3	15,025	15,040	+15	15,025	+15
No. 4	14,951	14,970	+19	14,951	+19

[註] (イ) 出来形の場合はE欄には記入する必要はない。
 (ロ) 品質の場合は必要と思われる欄のみ記入し、他は空欄とする。

測定結果一覧表

主任監督職員	現場監督職員	主任技術者

工事名 _____

請負会社名 _____

工種名 _____

測定者 _____ ㊟

測点	設計値 A	実測値 B	設計値との差 C=B-A	規格値 D	規格値との差 E=B-D

〔註〕 (イ) 出来形の場合はE欄には記入する必要はない。

(ロ) 品質の場合は必要と思われる欄のみ記入し、他は空欄とする。

管水路ジョイント間隔測定結果一覧表

主任監督職員	主任技術者
現場監督職員	

工事名 _____

請負会社名 _____

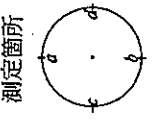
工種名 _____

測定者 _____

印 _____

工種名 (呼び径)	測定番号 (管番号)	測定値(接合時)				測定年月日	備考	判定	規格値	備考	判定	規格値	測定値(埋戻後)				備考		
		a	b	c	d								a	b	c	d			

注) 1. (参考) 規格値は、埋戻し後の値であり、原則として4箇所のうちから1箇所でもこの値を超えてはならない。
 2. 接合時の測定は、呼び径700mm以下の場合は間の外から確認してもよい。
 また、埋戻し後の測定は、PC管等重要な管を除き、呼び径700mm以下の測定は必要ない。
 3. 施工データが安定するまでの間は、上表の4箇所にこだわらず密に測定すること。



埋設とう性管たわみ量監理表

主任監督職員	現場監督職員	主任技術者

工事名

請負会社名

管種 (長さ)

測定者

㊟

測定位置 (管番号)	管据付時				管頂埋戻し時				埋戻し完了時				D×t (mm) (内径) (管厚)
	Dv	たわみ率	Dh	たわみ率	Dv	たわみ率	Dh	たわみ率	Dv	たわみ率	Dh	たわみ率	
	mm	%	mm	%	mm	%	mm	%	mm	%	mm	%	

たわみ率の計算

$$\frac{\Delta X}{2R} \times 100(\%)$$

$$\Delta X = |2R - Dv| \text{ 又は } |2R - Dh|$$

2R : 管厚中心直径

t : 管厚

- 注) 1. マーキング位置における測定値を記入する。
2. 測定については「土木工事施工管理基準」別表Ⅰの2水路工事、管水路 (埋設とう性管) の測定基準による。
3. 矢板引抜き時の測定値は「管頂埋戻し時」の欄に測定値を記入する。

ゴム輪位置管理表

主任監督職員	現場監督職員	主任技術者

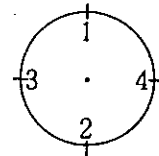
工事名 _____ 請負会社名 _____

呼び径・製造方式 _____ 測定者 _____ ㊟

管番号									
継手部清掃状態									
ゴム輪装着状態									
差し口部外面 受け口部内面 の平坦性									
ゴム輪位置 の測定 (y)	1								
	2								
	3								
	4								
監理基準値 (+) (-)									
判 定									

測定箇所

- 注) 1. 管理基準は接合時の値であり、4箇所のうち1箇所でもこの値を超えてはならない。
2. 接合時に管理基準値を超えた場合は、再度接合を行う。
3. ゴム輪位置の測定は、S形PC管のRO及びSL形継手に適用する。



様式(4)

○ ○ ○ ○ ○ 工杭打成績表

主任監督職員	現場監督職員	主任技術者

工事名 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 工事 請負会社名 ○ ○ ○ ○ 株式会社

工種名 基礎 工 測定日 ○ ○ ○ ○ ○

杭打込み 月 日	杭 番 号	R モンキー の 重 さ (t)	h モンキー の 落 下 高	a 測 定 前 杭 頭 の 高 さ (cm)	b 打 撃 回 数	c 測 定 後 杭 頭 の 高 さ (cm)	沈 下 量 a - c J = $\frac{a-c}{b}$ (cm)	支持力P (t)	摘 要
○月○日	No.1	2.2	180	560	10	557	0.3	68.9	
○月○日	No.2	2.2	180	572	10	558	1.4	46.6	
○月○日	No.3	2.2	180	563	10	553	1.0	52.8	
月 日									
月 日									
月 日									
月 日									
月 日									
月 日									
月 日									
月 日									
月 日									
月 日									
月 日									
月 日									
月 日									
月 日									
月 日									
月 日									
月 日									
月 日									

設計支持力 _____ 公式 $\frac{F}{55+0.1}$

クイ配置図 _____

様式(4)

工杭打成績表

主任監督職員	現場監督職員	主任技術者

工事名 _____ 請負会社名 _____

工種名 _____ 測定日 _____ ㊟

杭打込み 月 日	杭番号	R モンキー の重さ (t)	h モンキー の落下高	a 測定前 杭頭の 高さ (cm)	b 打撃回数	c 測定後 杭頭の 高さ (cm)	沈下量 a-c $J = \frac{a-c}{b}$ (cm)	支持力P (t)	摘 要
月 日									
月 日									
月 日									
月 日									
月 日									
月 日									
月 日									
月 日									
月 日									
月 日									
月 日									
月 日									
月 日									
月 日									
月 日									
月 日									
月 日									
月 日									
月 日									
月 日									
月 日									
月 日									
月 日									
月 日									
月 日									
月 日									
月 日									

設計支持力 _____ 公式 _____

クイ配置図 _____

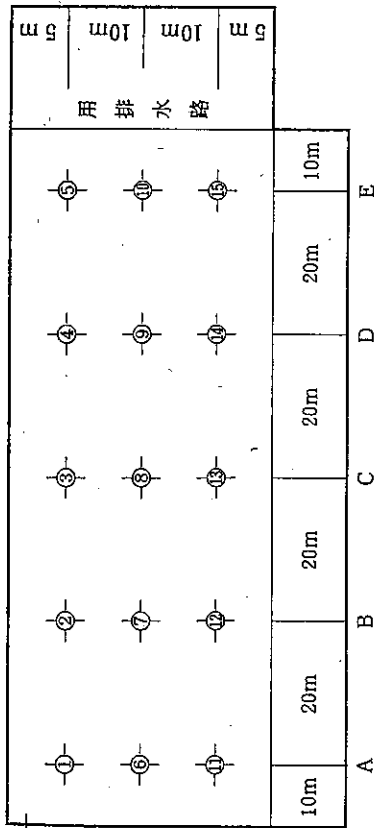
ほ場整備事業施工管理記録様式

様式(8)

平成 年度 地区は場整備 (工区) 工事
 基礎・表土平均管理結果図表

は場番号 番

表土扱 : 有: 表



測定値
 上段: 基礎面標高 (m)
 中段: 表土面標高 (m)
 下段: 表土平均厚 (m)
 () : 全点平均値との差 (mm) [規格値 50mm]

列	A	B	C	D	E
①	()	()	()	()	()
②	()	()	()	()	()
③	()	()	()	()	()
④	()	()	()	()	()
⑤	()	()	()	()	()
⑥	()	()	()	()	()
⑦	()	()	()	()	()
⑧	()	()	()	()	()
⑨	()	()	()	()	()
⑩	()	()	()	()	()
⑪	()	()	()	()	()
⑫	()	()	()	()	()
⑬	()	()	()	()	()
⑭	()	()	()	()	()
⑮	()	()	()	()	()
⑯	()	()	()	()	()
⑰	()	()	()	()	()
⑱	()	()	()	()	()
⑲	()	()	()	()	()
⑳	()	()	()	()	()
㉑	()	()	()	()	()
㉒	()	()	()	()	()
㉓	()	()	()	()	()
㉔	()	()	()	()	()
㉕	()	()	()	()	()
㉖	()	()	()	()	()
㉗	()	()	()	()	()
㉘	()	()	()	()	()
㉙	()	()	()	()	()
㉚	()	()	()	()	()
㉛	()	()	()	()	()
㉜	()	()	()	()	()
㉝	()	()	()	()	()
㉞	()	()	()	()	()
㉟	()	()	()	()	()
㊱	()	()	()	()	()
㊲	()	()	()	()	()
㊳	()	()	()	()	()
㊴	()	()	()	()	()
㊵	()	()	()	()	()
㊶	()	()	()	()	()
㊷	()	()	()	()	()
㊸	()	()	()	()	()
㊹	()	()	()	()	()
㊺	()	()	()	()	()
㊻	()	()	()	()	()
㊼	()	()	()	()	()
㊽	()	()	()	()	()
㊾	()	()	()	()	()
㊿	()	()	()	()	()
全点計					
全点平均					
列平均					

測定年月日: 平成 年 月 日
 測定者: 主任監督職員 現場監督職員 主任技術者
 (基礎: 赤, 表土: 水色, 表土厚: 緑) ※ 各列平均値を图示

測定値 (cm)	A	B	C	D	E
10					
9					
8					
7					
6					
5					
4					
3					
2					
1					
0					
-1					
-2					
-3					
-4					
-5					
平均					
均					

全点計	
全点平均	

項目	設計値	実測平均値	差	規格値	備考
計画基礎面標高	m	m	m	⊕150 mm	指定時のみ記入
表土扱				⊖20 %	

表土厚

様式10

出 来 形 成 果 表

工 事 名 種	主 任 監 督 職 員		現 場 監 督 職 員		主 任 技 術 者						
	測 定 者	測 定 年 月 日	測 定 者	測 定 年 月 日	測 定 者	測 定 年 月 日					
工		平成	年	月		日					
測 点	項 目	A ()	B ()	C ()	D ()	E ()	F ()	G ()	H ()	I ()	備 考
	設 業 計 画 値										
	設 業 計 画 値										
	設 業 計 画 値										
	設 業 計 画 値										
	設 業 計 画 値										
	設 業 計 画 値										
	設 業 計 画 値										
	設 業 計 画 値										

() は規格値